

大湾区情報 No. 61

グレーターベイエリア情報 発行：2023年6月20日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【ひとつの決済アプリでOK！ QRコードスキャンで深圳香港のバス地下鉄乗車可能に】](#)

[【12のグローバル海底ケーブルシステムが香港に 香港がアジア太平洋のビッグデータハブになりうるその理由】](#)

[【4.2兆人民元市場を取り込む 広東省、デジタルホーム産業クラスタを構築】](#)

【ひとつの決済アプリでOK！ QRコードスキャンで深圳香港のバス地下鉄乗車可能に】



大湾区の交通一体化を加速させ、深圳が大湾区発展の中核エンジンを創出するために、大湾区の相互接続に再び朗報をもたらされました。深圳香港のバス地下鉄乗車の際に、一つのアプリのQRコードをスキャンすることで運賃の支払いができるようになり、両地の相互接続がさらに大きな一歩を踏み出しました。

深圳香港間の公共交通機関による移動を促進するため、深圳市交通輸送局の指導のもと、深圳市深圳通有限公司（以下「深圳通」）は中国のアリペイ

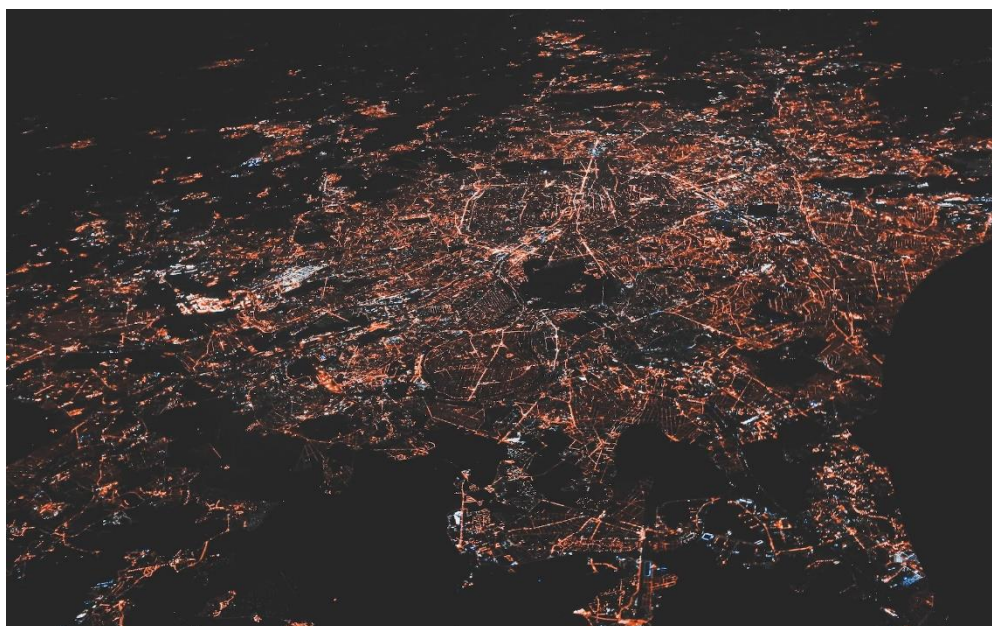
(Alipay) およびアリペイ香港 (AlipayHK) 等の会社と協力し、深圳香港間の交通機関決済の相互承認機能をアップグレードしました。深圳通の「大湾区連携、深圳香港の相互接続、ワンコードで深圳香港を結ぶ」サービスが開始されました。2023年6月1日から、深圳通、アリペイ香港、アリペイ (中国) アプリのいずれか1つを利用して、深圳と香港のバスや地下鉄を利用することができます。

深圳の住民は、深圳通またはアリペイのアプリで、乗車コードページの場所を香港に切り替え「香港乗車用コード」を受け取った後、同コードをスキャンすれば香港のバスや地下鉄（エアポートエクスプレスを除く）を利用することができます。運賃は当日の為替レートで決済されます。

香港の住民は、アリペイ香港アプリを利用し、越境乗車コードページで場所を深圳に切り替え、「深圳通乗車用コード」を受け取ることで、深圳のバスや地下鉄を利用することが可能となります。また深圳通アプリと同様の乗車特典を享受することができます。

「ワンコードで深圳と香港を結ぶ」というコンセプトの実現は、深圳と香港の交通一体化のプロセスを加速させ、両都市間の旅行体験の最適化、市民の公共交通利用によるエコな外出、レジャー、ビジネス往来をさらに促進し、「ハイレベル一時間生活圈」の建設に向けた良い環境を作り出しました。大湾区の共同開発のモデルとしての役割を十分に果たしています。

【12 のグローバル海底ケーブルシステムが香港に 香港がアジア太平洋のビッグデータハブになりうるその理由】



5月29日、広東省韶関市で第2回大湾区（広東）コンピューティング産業大会と第1回中国コンピューティング・ネットワーク大会が開幕しました。香港はアジア太平洋地域の金融、国際貿易、物流のハブであるだけでなく、世界中の多くの組織の地域事務所や地域本部が設置されており、安全、安心、信頼性の高いデータセンター施設やサービスへの強い需要から、香港はビッグデータの地域ハブとなっています。

大会では、香港のデータ産業代表者が大湾区の同業者と深い交流を行い、コンピューティングがどのようにさまざまな産業のデジタル化を促進し、さまざまな地域の利点を調整して技術革新と開発を共同で構築できるかについて議論しました。

午後には、新意網集团有限公司（SUNeVision Holdings）のビジネス開発（大中華地区）担当副社長ココ・チェン氏が、「広東、香港、マカオのコンピューティング産業の共同開発」というサブフォーラムで「香港におけるデータセンターのレイアウトとサービスのトレンド」というテーマの基調講演を行いました。チェン氏は、現在、世界のインターネット・トラフィックの95%以上が海底光ファ

イバー・ケーブルによる伝送に依存していることを紹介しました。クラウド・コンピューティングの発展やスマートデバイスの増加により、世界の海底光ファイバー・ケーブル・システムの需要はさらに高まっています。

サブマリン・ネットワークス (Submarine Networks) が提供する最新情報によると、香港は世界 **12** の海底ケーブル・システムに接続しており、近い将来新たに **3** つの海底ケーブル・システムが香港に上陸する予定で、アジア太平洋地域における通信およびインターネットのハブとしての香港の地位はさらに強化されると考えられます。

チェン氏は、クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド (Cushman & Wakefield) の最新の年次レポート「世界データセンター市場レポート 2023 年版」によると、香港は世界のデータセンター市場の上位に位置し、世界第 **4** 位、アジア太平洋地域では第 **2** 位であると述べています。香港には現在約 **60** のデータセンターがあり、総床面積は **860** 万平方フィート以上と世界最大級のデータセンターの **1** つとなっています。また、今後 **3** 年間で **750** 万平方フィート以上の新規データセンターが増設される予定で、既存のデータセンタースペースと合わせた利用可能床面積は **1,600** 万平方フィートとなり、短期需要には十分で、政府は中長期需要に対応した新規土地供給の拡大を検討していると述べました。

また、チェン氏は香港ならではの利点について「香港は中国本土に近く、アジア戦略の中心に位置し、市場の需要により世界中の多くの海底ケーブルが香港に接続され、ネットワークノード (ネットワークの接点) が設置されています。従って、香港は長年にわたり、アジア太平洋地域の金融、国際貿易、物流のハブであるだけでなく、ビッグデータが集まる地域でもあります。統計によると、世界のトップ **100** 銀行、金融機関、大手企業の **70%** 以上が香港に地域本部を構えています。これらの組織は、安全で信頼性の高いデータセンター施設を強く求めているのです」と触れています。

イノベーションとテクノロジーの発展に関しては、香港政府は昨年末「イノベーションとテクノロジー発展のための香港ブループリント」を発表し、今後 **5** 年から **10** 年の香港のイノベーションとテクノロジー発展のための明確な発展経路

と体系的な戦略計画を策定、香港がイノベーションとテクノロジーの国際的な中心地になるというビジョンを実現するよう導いています。

グループプリントでは、「イノベーションとテクノロジーのエコシステムを改善し、香港の『新型産業化』を促進する」「イノベーションとテクノロジーの人材プールを強化し、発展の勢いを高める」「デジタル経済の発展を促進し、スマート香港を構築する」「中国全体の発展に積極的に溶け込み、本土と世界をつなぐ架け橋となる」といった香港のイノベーションやテクノロジー発展の4つの方向性を明らかにしています。

大会にて登壇した香港生産力促進局（Hong Kong Productivity Council、以下「HKPC」）のグリーンリビング&イノベーション部総経理の都永海氏は、「新型産業化」の核心は、高度な技術、高度なインテリジェンス、デジタル機能を備え、イノベーションと創造性にあると指摘し、同時に持続可能な発展を十分に考慮する必要もあり、「HKPCは、企業向けにスマート生産ラインソリューションを提供し、二酸化炭素排出量を削減しながら生産性を向上させるなど、デジタル変革サービスを提供することを力入れています」と述べ、その一方で、HKPCは企業の政府資金援助スキームへの申請も支援しており、2022年の政府資金援助スキームの申請件数は19,000件を超え、承認済申請に関わる政府援助金総額は約33億香港ドルに達し、企業への資金援助をより多く確保できると説明しました。

【4.2 兆人民元市場を取り込む 広東省、デジタルホーム産業クラスタを構築】



5月10日、仏山市で広東省家具産業のデジタル化に関するキックオフ会議が開催され、広東省工業情報化部の指導及び広東家具協会の主導による「広東省家具産業企業のデジタル化変革のためのガイドライン」（以下「ガイドライン」）が正式に実施となりました。

広東省は共同でエコロジーで高品質なホームデジタル化産業クラスタを構築します。ガイドラインの全体目標によると、2025年までに同省の家具産業はデジタル化変革と応用の新レベルに達すること、業界全体の情報・工業の統合レベルは50%に達すること、一定規模以上企業は85%に達することとし、5G完全接続工場、スマート製造実証工場、優れた応用シナリオが多数育成される、とされています。

「2022年中国家庭消費者クチコミ白書」では、住宅建材産業の市場規模が4.2兆人民元を超えると掲載されています。広東省家具協会の王克会長は、新しい消費傾向により、消費のアップグレードの新しいラウンドに適応するための新しい要件が家庭用家具業界に提示されている、と述べました。5G、モノのインターネット(IoT)、ビッグデータの包括的な応用により、業界全体がデジタル化の時代に入り、デジタル経済と実体経済が深く統合されるデジタル産業クラスタの時代に入りました。

先日、入札ブランド調査研究公示サービスプラットフォームが「2023年中国家具産業競争力トップ100企業」を発表し、広東省はランクイン企業の45%を占め、他の省・市を大きく上回りました。デジタル時代の業界発展において直面した新たな課題を前に、「広東家庭用家具」はどのように黄金の看板を磨き続けることができるのでしょうか。2022年、東莞市と仏山市は共同で申請した「仏莞家庭用家具産業クラスター」が工業情報化部の第3次先進製造クラスターに選定され、東莞市、大嶺山鎮、厚街鎮、仏山市、九江鎮、龍江鎮、樂從鎮が家具産業の育成を支援する政策をそれぞれ発表しています。広東省の家具産業がデジタル変革することにより、「家庭用家具デジタル化産業クラスター」へとアップグレードされることとなります。

指針には、デジタル変革の重要な側面の一つは、研究開発設計の変革、消費のアップグレードへの対応、スマートホーム（家具と家電一体化）、スマートオフィス、スマートホテル、スマート医療、多機能製品の開発に注力し、子供用、ヘルスケア用、アウトドア、キャンプ家具の開発を加速し、住宅全体の家具オーダーメイドやトータル内装家具オーダーメイドを着実に推進することであると記載されています。

【参考資料】

・ [ひとつの決済アプリで OK！ QR コードスキャンで深圳香港のバス地下鉄乗車可能に](#)

・ [12 のグローバル海底ケーブルシステムが香港に 香港がアジア太平洋のビッグデータハブになりうるその理由](#)

・ [4.2 兆人民元市場を取り込む 広東省、デジタルホーム産業クラスターを構築](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当: 新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

=====